

# ぐんま総合診療医センター

## 目的

全ての地域住民が安心して過ごせるよう、幅広い領域の疾患等を総合的に診療する能力をもつ医師を養成する。

総合診療医センターを設置し、オール群馬で組織間の壁のない総合診療医育成のためのネットワークを構築すると共に、持続可能な教育プログラムを開発する。

## オール群馬のネットワーク形成 持続可能な教育プログラムの開発

### 卒前教育での総合的な 診療能力の育成

- ・総合診療医センター医師による総合的な診療の教育
- ・指導医のいる地域での実習促進

### DX・オンライン シミュレーター等の活用

- ・総合診療教育の標準化

### 総合診療医育成プログラムの 充実

- ・県内プログラム間のネットワーク形成
- ・連携した指導体制
- ・指導医へのサポート体制の充実

### キャリア支援 学術的支援 リカレント教育の充実

- ・専門医取得後の勤務先の提供、調整
- ・医師少数区域で勤務する際のネットワークを用いたバックアップ体制
- ・指導医の育成

### 総合診療マインドを持つ 他領域の専門医の育成

- ・動画作成やオンライン研修会の提供
- ・勤務しながら学べる勤務先の提供、調整

総合診療能力を  
もつ医師の増加

地域医療の充実  
医学医療の発展

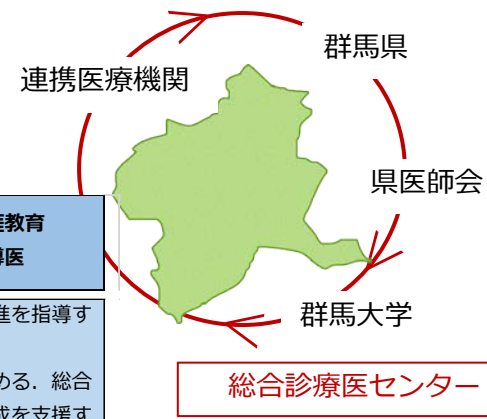
分析・評価  
群馬県の医療政策に反映

拠点形成

県横断的な広域ネットワークの形成  
教育プログラムを全国に発信

# 【群馬大学】卒前から卒業までのシームレスな総合診療育成プログラムの策定

- ・総合的な診療能力を獲得するための教育を既存の講義や実習に総合診療医センターのスタッフがかかわり、充実・拡充。
- ・地域枠学生の学外実習に総合診療指導医の在籍する医療機関を促す。
- ・シミュレータやDXを用いた実習や研修法の開発。
- ・総合診療教育の標準化のための動画作成。
- ・専攻医以降のキャリア支援・学術的支援。指導医を育成し、教育施設を拡充。
- ・医師少数区域で診療する際の診療内容の相談や知識のアップデートのシステムおよびネットワークを構築。バーンアウト予防。

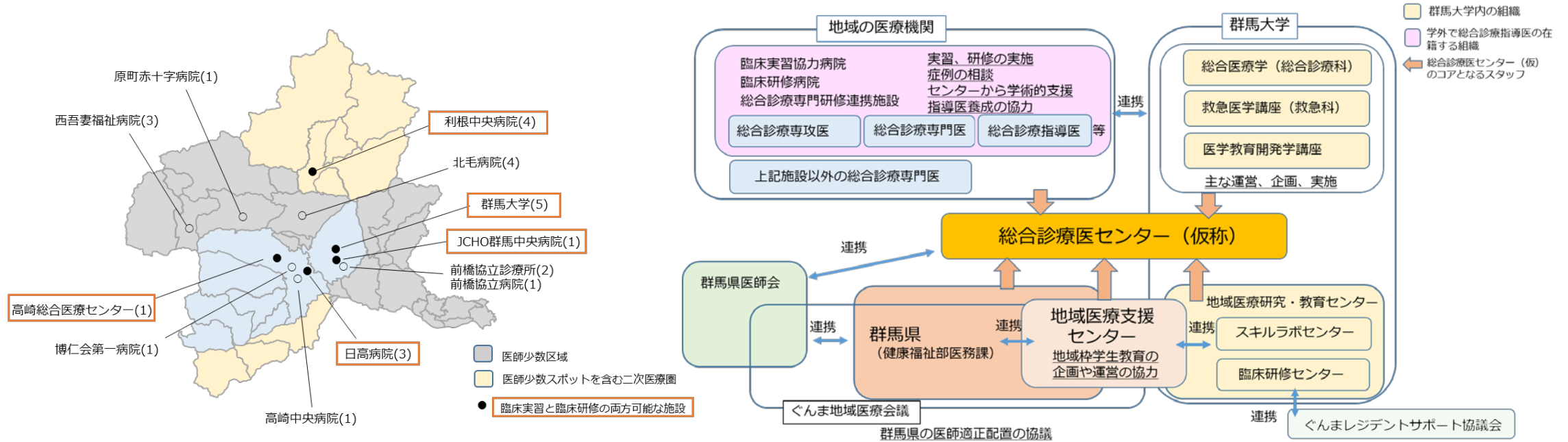


- ・総合診療医のみならず、他領域専門医や医療スタッフ、群馬県とも協力し、限られた医療資源を活用し、地域に還元する。
- ・特に地域枠学生のキャリアパスとしてのプログラムを構築。
- ・群馬県における人材育成の他、広域ネットワークや国際交流にも寄与する。
- ・G-Spaceを用いて指導医のいない地域での診療支援を行う。

	<b>卒前教育 中高生</b>	<b>卒前教育 医学科低学年</b>	<b>卒前教育 医学科高学年</b>	<b>卒業教育 研修医・専攻医</b>	<b>卒業教育・生涯教育 専門医・指導医</b>	
<b>目標</b>	地域医療を担う医師のイメージやキャリアパスを理解する。 総合診療医のニーズの理解や動機づけ 地域枠制度への理解	地域医療の現状と課題を理解する。 全人的に医療に関わる総合診療的な視点を身に付ける。	総合診療に必要な知識・技能を習得する。 地域におけるプライマリ・ケアの知識を身に付ける。 臓器にとらわれない総合的な視点で診療に関わることができる。	総合的な診療能力をつけ、実践することができる。 地域におけるプライマリ・ケア診療について、基礎的な指導を行うことができる。	地域医療の充実、後進を指導する能力を獲得する。 医学研究の推進に努める。総合診療医のキャリア形成を支援する。 バーンアウトを予防する総合的な診療能力を持つ臓器別専門医の育成に努める。	
<b>取り組み</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生のための医師体験教室・医学科オープンキャンパス・シミュレータ体験</li> <li>・医学部医学科セミナー・医学科進学説明会</li> <li>・医師をめざす高校生セミナー</li> </ul> 上記に総合診療医を配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合診療セミナー / シンポジウム</li> <li>・対面やオンライン型の相談会や勉強会</li> <li>・群馬総合診療・総合内科フォーラム</li> <li>・広報やリクルート 等</li> </ul>				
<b>地域枠学生を主とする取り組み</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県緊急医師確保修学資金 / 「群馬県地域枠」制度説明会、動画配信</li> </ul>	<b>地域医療集中演習「利根川プログラム」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめて学ぶ地域医療</li> <li>・医系の人間学</li> <li>・主要症候と病態生理</li> </ul> 上記科目での総合診療医が身に付けるべき資質・能力の学修		<ul style="list-style-type: none"> <li>・シナリオトレーニング</li> <li>・臨床推論TBL</li> <li>・臨床実習での総合診療科や総合内科での実習の拡充</li> <li>・長期滞在型臨床実習(LIC)の導入</li> <li>・実践臨床病態での総合診療科目の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研修プログラムでの総合診療研修の充実</li> <li>・県内の総合診療専門研修プログラムのネットワーク形成と指導体制の構築</li> <li>・内科や救急専門研修とのダブルボードプログラムの構築</li> <li>・学会発表、論文報告、地域医療機関での専門研修の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サブスペシャリティ領域専門医の取得</li> <li>・内科や救急と総合診療医とのダブルボードの取得</li> <li>・指導医の育成、支援</li> <li>・大学院進学</li> <li>・他領域専門医からのリカレント教育</li> <li>・G-spaceなどのITを活用した相談支援やバックアップ体制</li> <li>・ピアサポート部門の設置</li> </ul>
		<b>群馬県キャリア形成卒前支援プラン</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療体験セミナー・バスセミナー</li> <li>・地域枠学生情報交換会</li> <li>・ぐんま地域医療合同フォーラム / 講演、キャリア報告</li> </ul>		<b>ぐんま地域医療リーダー養成キャリアパス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門医、サブスペシャリティ領域専門医取得、学位取得</li> <li>・総合診療専門医キャリアパス / 群馬大学医学部附属病院の他5つのキャリアパス</li> </ul>		
総合診療医センターの医師が一貫して教育を行う事によりロールモデルとなる						

# 総合診療医センター組織図（案）

群馬県・医師会・県内医療機関と連携し特に地域枠学生を中心に総合診療医を育成するセンター



総合診療研修施設群における指導医数（括弧内。2025年5月時点）

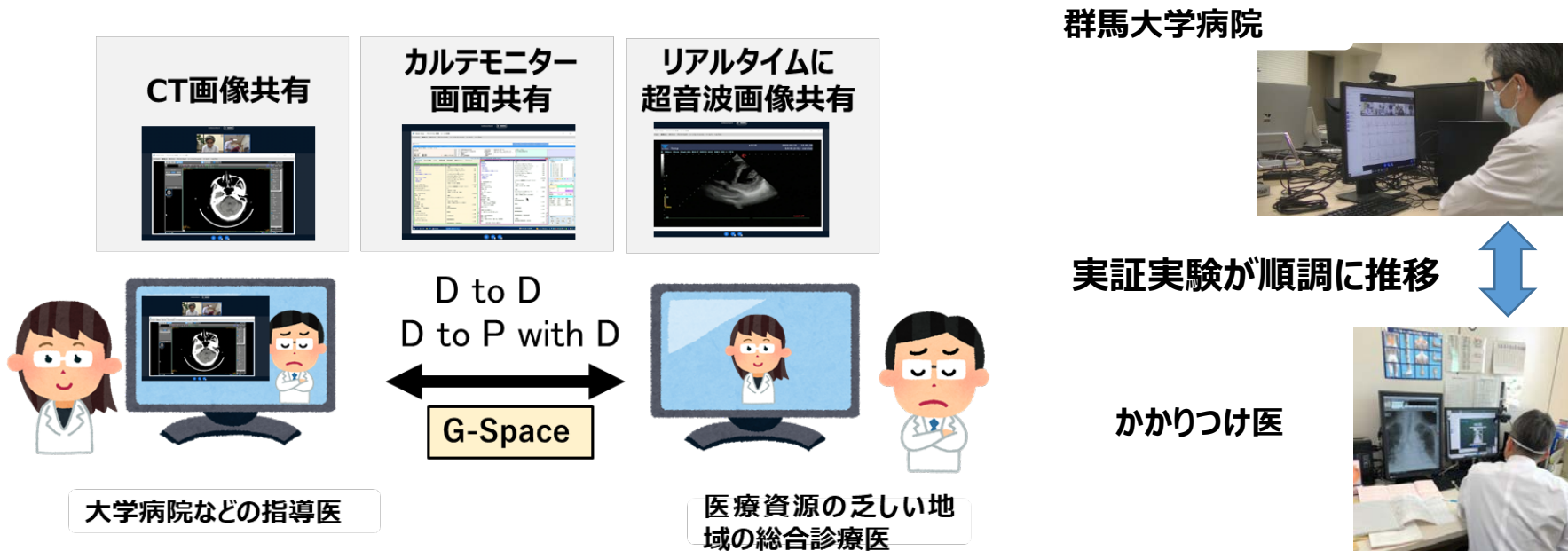
総合診療医センター（案）

- ・ 主な企画運営は群馬大学総合医療学講座、医学教育開発学講座、救急医学講座が連携して行う。
- ・ 特に地域枠学生教育の企画や運営は、群馬県地域医療支援センターや健康福祉部医務課と協力して行う。
- ・ 総合診療医センターのコアメンバーに、医師少数区域や医師少数スポットを含む二次医療圏の指導医を含む。
- ・ ぐんま地域医療会議において、群馬県医師会や病院協会等と連携し、群馬県の医師適正配置の協議を行う。

群馬県内には6つの総合診療専門研修プログラムがあるが指導医数は少なく、総合診療医センターが中心となり指導医を育成し、実習や研修のできる施設を増やす。将来的には現在指導医が在籍していない東毛地区や広域ネットワーク内にも指導医を配置する。

# DXを活用した指導医がいない地域での診療支援—G-Space

- ・医療用途を前提とし、情報漏洩を防ぐ高い安全性と、画像の解像度を向上させている。
- ・多くの情報を正確に伝えられ、的確な判断が可能
- ・リアルタイムにオンライン診療も可能



オンライン診療が注目されているが、一般的には患者が自宅にいて、病院・医院とのやり取りを行うものである。しかし、今回計画しているものは、患者(P)が地域の病院・医院（若手総合診療医:D）に受診し、それらと指導医(D)が在籍する大学病院などと接続し、診察を施行した上で、必要な検査・画像などについては地域において施行し、その結果に基づき診断や治療を行い、相談支援やバックアップ体制を整えるというものである。

現在、G-Spaceは多施設合同カンファランスでも活用されている。また、群馬大学と数施設で実証、救急症例に応用されており、今後県内全域に広げていくことが計画されている。県立小児医療センターの移転に伴い、北毛地区を中心とした小児医療への活用が予定されている。